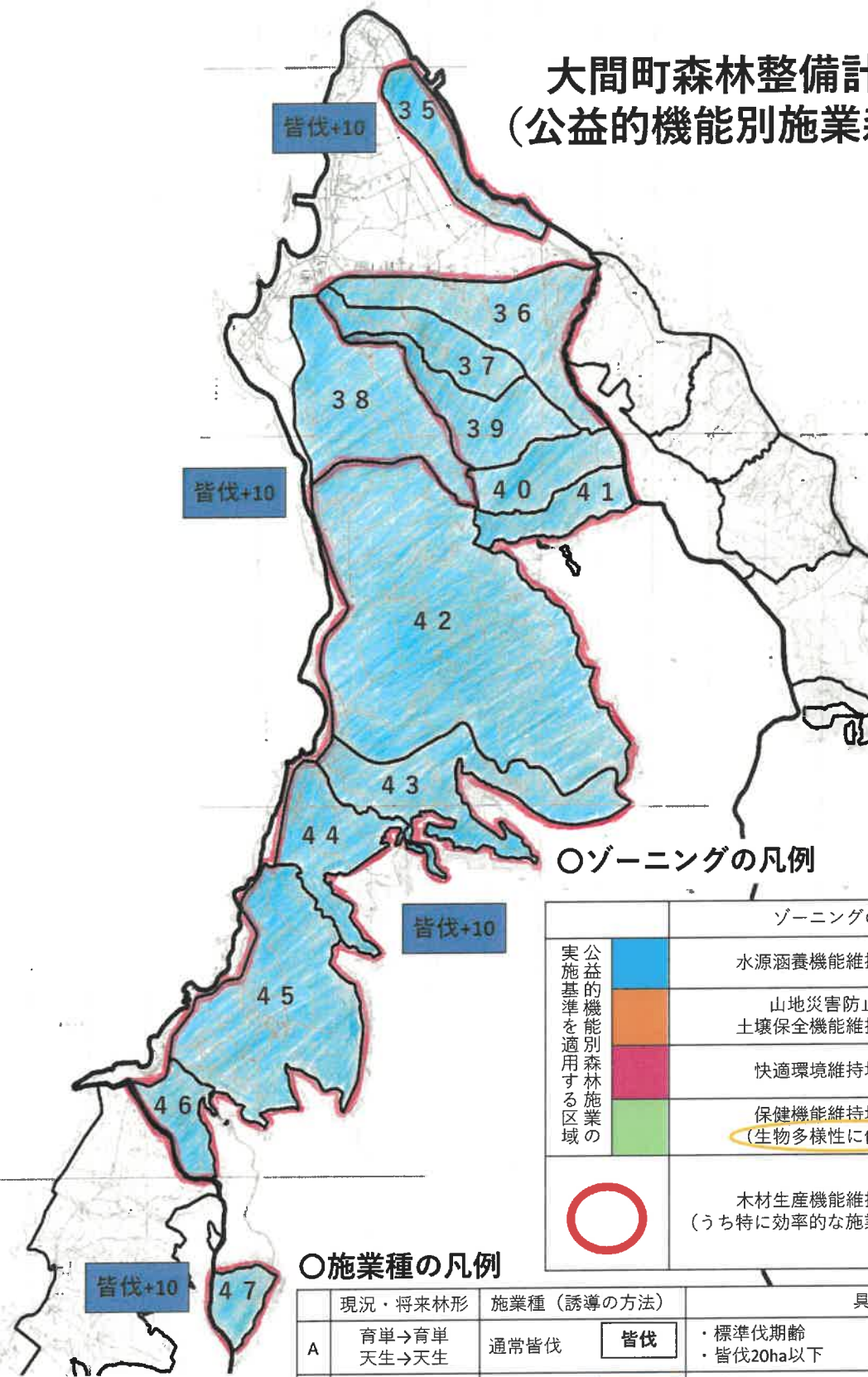


大間町森林整備計画概要図 (公益的機能別施業森林の区域)



○ゾーニングの凡例

	ゾーニングの種類	施業種
公益的機能別施業森林の区域に適用する実施基準	水源涵養機能維持増進森林	B
	山地災害防止機能/ 土壌保全機能維持増進森林	C・D
	快適環境維持増進森林	
	保健機能維持増進森林 (生物多様性に係るもの)	
	木材生産機能維持増進森林 (うち特に効率的な施業が可能な森林)	A

○施業種の凡例

	現況・将来林形	施業種 (誘導の方法)	具体的な基準
A	育単→育単 天生→天生	通常皆伐 皆伐	・標準伐期齢 ・皆伐20ha以下
B	育単→育単 天生→天生	伐期の延長 皆伐+10	・標準伐期齢+10 ・皆伐20ha以下
C	育単→育単 天生→天生	長伐期施業 皆伐・長	・標準伐期齢×2 ・皆伐20ha以下
D	育単→育復 育復→育復 天生→天復	複層林施業 (択伐以外) 復	・伐採率：70%以下 ・維持材積5割以上
		択伐による複層林施業 復択	・伐採率：30%以下 ・維持材積7割以上 【人口植栽の場合】 ・伐採率：40% ・立木材積Ry0.75以上で伐採後材積Ry0.65以下